福岡市議会通信 第35号（2016年 夏号）

民進党

田中しんすけ

福岡市議会・平成28年6月定例会報告

地域に調和した「民泊サービス」の提供に向けて！

市民の日常生活の安全・安心に配慮した
制度設計を要望しました。

TOPIC

◇ 外国人観光客を商店街に呼び込むために!（一般質問）
◇ 高校生に「政治」を語る!～社会人講演会@筑紫丘高校～
◇ 今年も熱戦!第22回中央区ソフトバレーボール大会

議会

外国人観光客の商店街への誘致促進について

増え続ける外国人観光客！
地域商店街へ誘致するための政策提案を行ないました!!

観光客と商店街、ともにWin-Winの関係づくりを

福岡市を訪れる外国人観光客数は平成27年に200万人を突破。増え続ける外国人観光客に、（天神・博多といった）都心部だけでなく市内全域を広く訪問してもらうという視点から、観光客を地域商店街へ呼び込むための取り組みが必要であると主張しました。

▲パネルを使って丁寧に質問!

経済効果の観点からも、都心部の百貨店や大型商業施設だけでなく、地域商店街が提供する商品やサービスを外国人観光客に購入してもらえれば、市内へ幅広い経済効果が期待できます。今後、外国人観光客を広く地域商店街に誘致していくことは本市としても重要施策の一つとして認識すべきである、と訴えました。

地域の観光資源を掘り起こすサポートが重要

具体的な政策提案として、一つは**『観光資源開発コンサルタント』制度の導入**を提案。これは、福岡市が各商店街に同コンサルタントを派遣することで、地域住民や商店街関係者とともに観光資源の発掘を行うというものです。もう一つは、**福岡市観光サイト『よかナビ』をさらに充実させること**を提案。「地域や商店街が地元の観光資源を活かして体験型ツアーを企画し、それを『よかナビ』に掲載していく」という「具体的なケースづくり」を促進すべきだと主張しました。当局からは「商店街への外国人観光客の誘導についても検討していく」との答弁を得ました。

議会

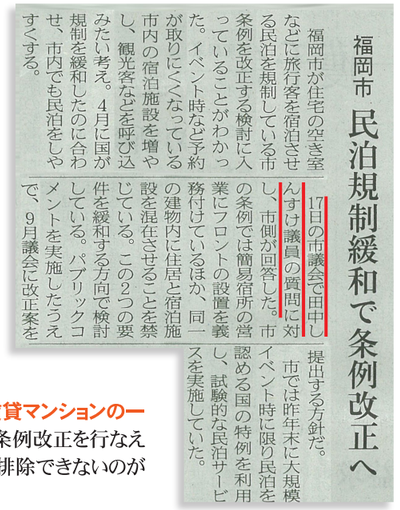
民泊サービスについて

福岡市「民泊規制緩和」で条例改正へ！
地域に調和した民泊サービスの提供に向けて政策提案！

民泊の基礎知識 ～これまでの議論の経過について～

料金を取って住宅の空き室などに旅行客を宿泊させるサービスを「民泊サービス」と呼びます。国も、訪日外国人観光客のニーズや宿泊施設が不足している現状、地域の人口減少などにより増加している空き家の有効活用といった点を踏まえて、この民泊サービスの活用を検討してきた経緯があります。4月に国が規制緩和（＝旅館業法の改正）したことを受けて、福岡市でも民泊をしやすくするための条例改正が予定されています。

▼2016年6月18日 日本経済新聞


福岡市 民泊規制緩和で条例改正へ

福岡市が住宅の空き室などに旅行客を宿泊させる民泊を規制している市条例を改正する検討に入っていることがわかった。イベント時など予約が取りにくくなっている市内の宿泊施設を増やし、観光客などを呼び込みたい考え。4月に国が規制を緩和したのに合わせ、市内でも民泊をしやすくする。

17日の市議会で田中しんすけ議員の質問に対し、市側が回答した。市の条例では簡易宿所の営業にフロントの設置を義務付けているほか、同一の建物内に住居と宿泊施設を混在させることを禁じている。この2つの要件を緩和する方向で検討している。パブリックコメントを実施したうえで、9月議会に改正案を提出する方針だ。

市では昨年末に大規模イベント時に限り民泊を認める国の特例を利用し、試験的な民泊サービスを実施していた。

民泊サービスに関する論点整理 ～地域住民の安全・安心に配慮した制度設計を!～

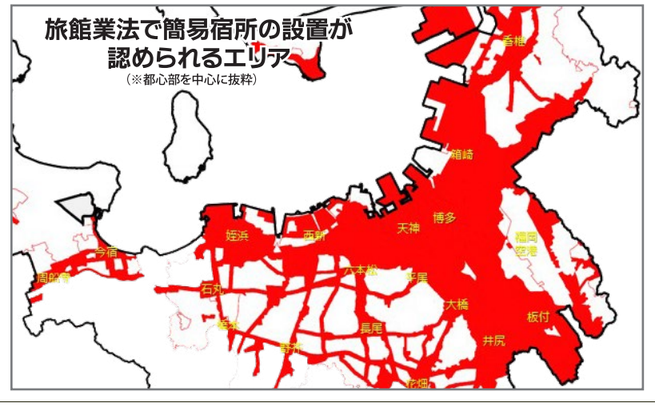
福岡市は今年9月の条例改正を目指して、民泊サービスに関する市民や関係者からの意見募集（パブリックコメント）を実施しています。
具体的には、

◆浴室における脱衣室の面積　◆客室の定員および床面積
◆玄関帳場（フロント）の設置　◆住居との混在禁止

などの点について意見を募集します。

これらの点について宿泊施設に関する規制を緩和することで、簡単に言えば、**「一戸建て住居や賃貸マンションの一室をホテルとして宿泊客に提供することができる」**ようになります。しかし、国の規制緩和の通りに条例改正を行なえば、将来「自分の家（部屋）の隣が、知らないうちにいきなり宿泊施設になってしまう」という可能性を排除できないのが実態です。地域住民の日常生活における安全・安心に配慮した制度設計が必要不可欠です。

現行の旅館業法に合わせて条例が改正されると…



政治

田中しんすけ政治教室@筑紫丘高校
高校生に「政治」と「選挙」を全力講義！

社会人講演会@筑紫丘高校

母校の教壇で「政治」を語る

2016年6月4日、私の母校である筑紫丘高校で開催された「社会人講演会」に講師として参加しました。その名の通り、高校を卒業して社会人となった先輩が、現役の後輩対して自身の職業について語るイベント。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたこの時期に、高校生に正面から政治や選挙の話が出来ることは非常にタイムリーでした。最初の60分は田中がもっぱら喋り倒しましたが、残り30分の質疑応答では、

「議員としてもっとも実現したいことは?」
「福岡市の課題は?」
「忙しいイメージだが休みはあるのか?」
「辛いときの心の支えは?」
「贈収賄に巻き込まれたりするのか?」
「高校生のうちにしておくべきことは?」

など、現役生たちが関心を持って多くの質問を投げかけてくれました。

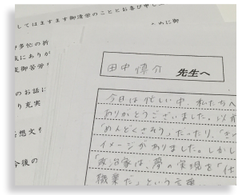
「後輩からの激励」に奮起!

後日、その時の受講生22名から感想文が届きました。全ての感想文に目を通しましたが、生徒たちに共通する感想として挙げられていたのが、「政治（家）に対するイメージが変わった」という点です。

この感想文は、私にとって非常に重要な気付きを与えてくれるものでもありました。それは、若年層を中心に政治的無関心が広がっているとか、その結果として投票率が低いとか言われていますが、その原因は「政治が遠ざけられていた」からであり、「政治家との接点がなかった」からだと確信できたからです。

「田中先輩の取り組みを応援しています!」

高校生である彼らの激励に対して、同窓の先輩として、政治家の一人として、これからも**「相手の年齢を問わず直接コミュニケーションを図る機会を増やしていく」**ことでしっかりと応えていきたいと思います。


▲講演後に送られてきた後輩からの感想文!

地域

ソフトバレーボール大会

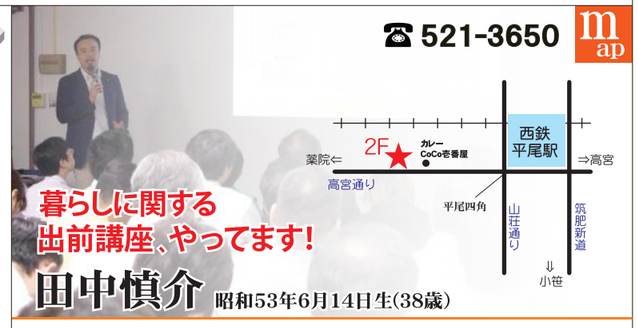
今年も熱戦！
第22回 in 中央体育館
中央区ソフトバレーボール大会

2016年6月19日、今年も赤坂の中央体育館にて第22回中央区ソフトバレーボール大会が開催され、14校区対抗での熱戦が繰り広げられました。田中しんすけは平尾校区のメンズチームの一員として参加。昨年、所用で決勝トーナメントを欠場したこともあり、今年の大会はフル回転。合計4試合で9セットに出場してそれなりに貢献できたのではないかと思っています。

結果は、男子4位・女子5位という結果に終わりましたが、来年は更に上位を狙うために日々の練習に力を入れていきます!

平尾チームのみなさん、本当にお疲れ様でした!!

▲大会に出場した平尾校区メンズチームのみなさんと!



暮らしに関する
出前講座、やってます!

田中慎介 昭和53年6月14日生(38歳)

西高宮小学校	卒業	1991年	アクセンチュア（株）	入社	2004年
西南学院中学校	卒業	1994年	福岡市議会議員1期	当選	2007年
筑紫丘高等学校	卒業	1997年	福岡市議会議員2期	当選	2011年
九州大学法学部	卒業	2001年	福岡市議会議員3期	当選	2015年
早稲田大学大学院	修了	2004年			

田中しんすけ市政相談所
〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-21 2F
TEL:092-521-3650 FAX:092-521-5221
E-mail:info@tanakashinsuke.jp
田中しんすけ 検索